

宿泊4団体 インド人材セミナー&マッチングイベント

2023年7月25日

日本旅館協会(大西雅之会長)は、日本ホテル協会と全日本ホテル連盟、全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会と、東京都内で外国人人材の送り出し機関と登録支援機関、監理団体とのマッチング会を初めて開いた。

192の宿と人材事業社29社が参加。アジアの外国人の受け入れが活発化するなか、新たな有望市場としてインド人材の活用を促した。



セミナー「インドをもっと身近に」では、全日本空輸(ANA)の片桐常弥インド総代表が「インド人の優秀さを発信し日本で在留者を増やすことで、訪問需要増加を目指している」と語った。



2023年7月27日 出展:旬刊旅行新聞

日本飲食団体連合会勉強会 2023年7月26日

食団連主催 第2回勉強会

外国人材について



人手不足が加速する中、貴重な働き手となる外国人材に関する制度や現状について正しく理解し、それぞれが抱える外国人雇用の課題について意見交換を行い、解決の糸口を見つける。



GUEST SPEAKER



須永 新平氏

農林水産省
前 大臣官房新事業・食品産業部
外食・食文化課課長



片桐 常弥氏

全日本空輸株式会社
インド総代表 兼 デリー支店長

オンライン配信も同時開催

2023
7/26(水)
15:00~17:30

会場

ビジョンセンター有楽町301

日比谷駅直結/有楽町駅徒歩3分
<https://www.visioncenter.jp/yurakucho/>

プログラム

- 第1部
・外国人材に関する制度(特定技能、技能実習など)について
・外国人材の実態、課題、他業種の実例
・パネルディスカッション
- 第2部
・意見交換会 ※会場参加のみ

参加方法

① 会場参加

■参加費

【会員団体・オフィシャルパートナーの方:無料】
一般の方:1,000円/1名 ※当日会場にてお支払いください

■会場:ビジョンセンター有楽町301

お申し込みは
右記の二次元コード または 下記URLより
<https://forms.gle/f7DnnuDXtDk3sWh7>



② オンライン配信

■参加費:無料

※どなたでも参加可能です

■配信:Zoomウェビナー

お申し込みは
右記の二次元コード または 下記URLより
<https://qr.paps.jp/wEIR2>



Copyright©ANARI Tsuneya KATAGIRI

資料提供:食団連

■山形県老人福祉施設協議会主催の介護インド人材説明会開催 2022年10月28日



■山形県インド人材説明会終了後、介護施設経営者・関係者のインド視察 (2023年1月12日-14日) 主催: 片桐 / 協力: 在インド日本国大使館



送出し機関NAVIS訪問(ベンガルール)

マニプル大学(インパール)で大学生、ARMS実習生、関係者と意見交換



2024年10月、社会福祉法人「つるかめ」で山形県初の
インド人介護特定技能生を受け入れ。写真は、伊藤社長とラクパさん
出展: NHKやままる

ANAグループ パートナー会社(グランドハンドリング人材)として
初めてインド人技能実習生を採用



日経ビジネス
2023 04.10
No.2186

第2特集
インドの人材を呼び込め
停滞ニッポンに活力

編集長インタビュー
現場データで事業を進化
奥村幹夫
SOMPOホールディングス社長

後継者選びの流儀

生き永らえる会社の覚悟

Copyright©ANARI Tsuneya KATAGIRI
出展：日経ビジネス



COLUMN
ANAのインド総代表も太鼓判

潜在能力の高い人材が豊富

「日印間の人材流動を活発化させれば、航空需要も拡大していく」。全日本空輸(ANA)の片桐常弥インド総代表はこう期待する。

ANAは現在、デリーとムンバイにそれぞれ直行便を運航している。2019年には南部チェンナイにも就航したが、現在は運休が続く。背景には国際的な人の往来を止めたコロナ禍がある。一時はチェンナイに限らず、デリー線、ムンバイ線も運休し、10年ほどインドに駐在する片桐氏の業務量は激減した。

空いた時間を利用し、片桐氏はインドから日本への送客をいかに増やすか考えを巡らせた。日印路線はインドに製造拠点などを持つ日本企業の出張需要に支えられ、日本発の需要に備っている。路線を再開させ、維持していくためには、今こそインド発の需要開拓に本気で取り組む必要がある。

ただ日本への旅行需要は「桜が見られる春に少し盛り上がる程度」

(片桐氏)。日本で働くインド人を増やし、「VFR (Visit Friends and Relatives)」と呼ばれる、友人や親族などの元を訪問する需要を創出していくという発想に至った。

片桐氏は技能実習生の「送り出し機関」の全てにコンタクトした。日本側の「監理団体」との結びつきが薄いと気付くと、大手の監理団体に連絡を取って送り出し機関を引き合わせた。人材不足に頭を抱える日本の介護事業者などにもアプローチし、インドの人材の魅力を直接アピールすることもある。



そんな片桐氏の目に映るインドの強みは「人口が多いため、潜在能力の高い人材が豊富」なこと。インドの言語と英語の両方を話せる人が多く、外国語の習得を苦にしない人が多い。さらに「北東インドの人々は文化などの面で日本と親和性があり、ホスピタリティ系の職種に向いている」とみる。

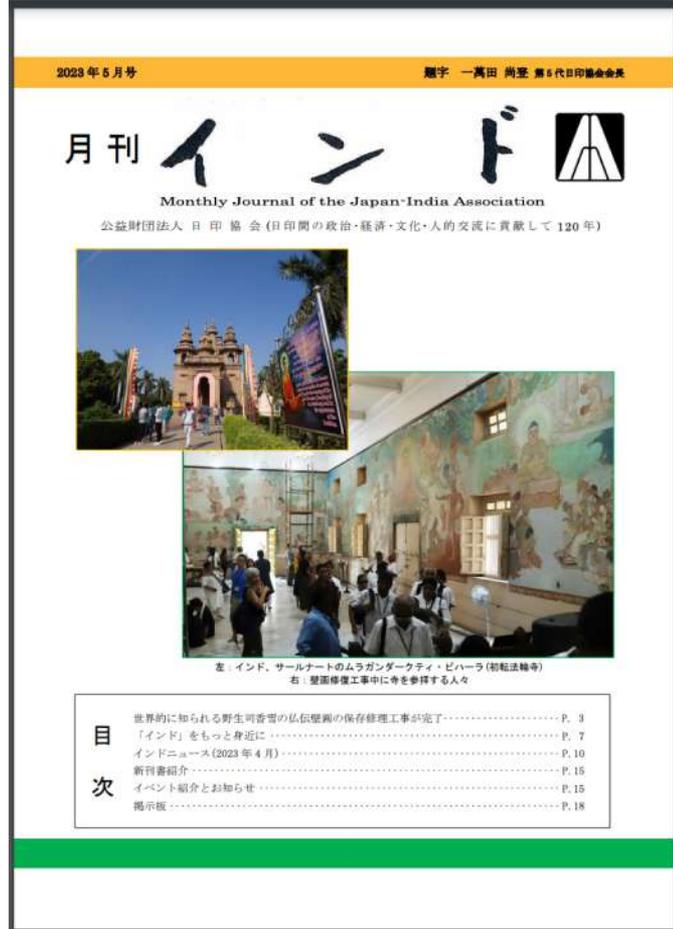
インドでは国営の航空大手だったエア・インディアが民間の大手財閥タタ・グループの傘下に入り、米ボーイングと欧州エアバスに計470機の航空機を発注。タタはシンガポール航空との合併として展開してきたビスタラとエア・インディアを合併させる方針だ。今後もインドの航空市場で商機が拡大するとの期待は大きい。

日印の人材交流が進むと、その恩恵を受ける業界は人材サービスや航空にはとどまらない。成長する南アジアの「大国」の勢いを取り込むことは、日本企業の成長戦略を考える上でも不可欠になる。

日印協会(*1)の月刊インド5月号 (2023年5月19日発行)に寄稿

(*1) 会長: 菅前総理

理事長: 齋木元外務事務次官



https://www.japan-india.com/files/view/articles_files_pdf_public/sr/c/4b6457afa7b0961055f3353d2c33f2c6.pdf

出展: 月刊インド

共同通信社の記事を全国紙で掲載

2023年8月14日-17日

出展: 山形新聞

開 新 報

(第三種郵便物認可)

インド人材 受け入れ後押し

働き手不足に悩む地方に向け、全日本空輸がインドの人材の魅力を発信している。国内受け入れを支援することで、世界最大の14億人が暮らすインドとの往来を増やし航空需要の拡大につなげようという試みだ。

新型コロナウイルスの影響で両国間の往来が激減した2020年、全日空の片桐常弥インド総代表が現地の技能実習生送り出し機関に接触を始めた。インパールやダーズリンといった地方都市を行脚し、制度の詳細や、日本で暮らすことの利点もアピールしている。

全日空がアプローチした自治体や団体

地方自治体 (全日空による)

山形県、和歌山県、鳥取県、高知県、福岡県、大分県、鹿児島県、松江市

業界団体など

日本旅館協会、日本飲食団体連合会、山形県老人福祉施設協議会、松江市社会福祉法人連絡会、宮崎経済同友会、鹿児島経済同友会

全日空、航空需要拡大狙い 本県などに売り込み

日本側への売り込みにも余念がない。本県や鹿児島県といった地方自治体や、宿泊、介護の業界団体などに幅広くアプローチ。片桐氏によれば、インドは親日的で日本語の習得能力の高い人材も多いことから、地方での受け入れが徐々に広がっているという。

日本とインドを結ぶ全日空の直行便はデリーとムンバイの2路線だけで、インド市場の伸びしろは大きい。片桐氏は「ビジネスや観光とは異なり、親族間の訪問は年間を通した航空需要の下支えになる」と話し、人材受け入れ拡大に期待を寄せている。

法務省によると、技能実習・特定技能両制度で在留する外国人は22年末に45万人余りで、このうちインドはわずか554人。労働力を確保したい日本の事業者の関心は高く、今年3月の日印首脳会談では両制度を活用したインド人材の流入増で合意している。

掲載紙

産経新聞、北海道新聞、山形新聞、秋田魁新報、河北新報、埼玉新聞、神奈川新聞、山梨日日新聞、静岡新聞、福井新聞、伊勢新聞、京都新聞、愛媛新聞、中国新聞、四国新聞、宮崎日日新聞、南日本新聞、沖縄タイムス、NNA、他

■ビジネス映像メディアPIVOTの Youtubeチャンネルに出演

2023年9月22日配信

出展: PIVOT



■ビジネス動画メディアReHacQの Youtubeチャンネルに出演

2024年3月5日、3月12日配信

出展: ReHacQ



ANA公式YouTubeチャンネル

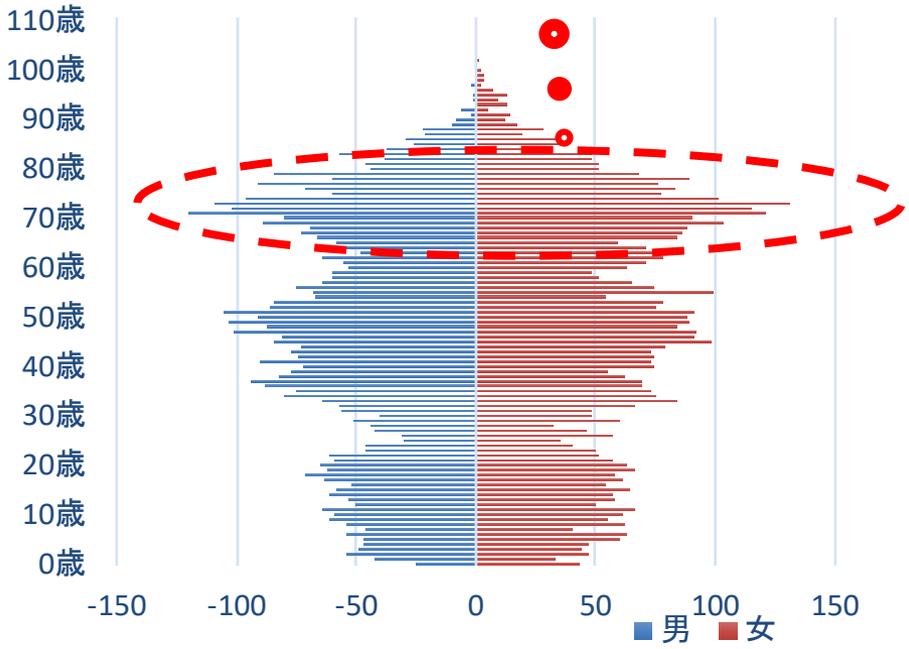
【密着ドキュメンタリー】
インドと日本の架け橋～ANA

<https://www.youtube.com/watch?v=yuirDQII-ss>



ANA機内番組で紹介
国際線2025年2月、3月
国内線2025年3月、4月

70代の比率が高い



出典: 横浜市統計情報ポータル

**子育て世代のインド人の増加
霧ヶ丘だけで800人**

**日本人とインド人のコミュニティが
共生している**

→リトルインディアの創出



Copyright©ANARI Tsuneya KATAGIRI



情報提供: 霧ヶ丘ぶらっとほーむ

■講演実績

1. 山形県老人福祉協議会（2022年10月28日）
2. 鹿児島経済同友会（2023年5月22日）
3. 宿泊業4団体 = 日本旅館協会 / 全旅連 / 日本ホテル協会 / 全日本ホテル連盟
インド人材セミナー&マッチングイベント（2023年7月25日）
4. 日本飲食団体連合会（2023年7月26日）
5. 島根県松江市社会福祉法人連絡会総会（2023年8月1日）
6. 宮崎経済同友会 / 宮崎県経営者協会（2023年8月23日）
7. 大分県アジアビジネス研究会（2023年12月22日）
8. 香川経済同友会 / 商工会（2024年2月20日）
9. 愛媛県中小企業団体中央会 - 経済4団体共催（2024年3月18日 ※オンライン）
10. インド日本商工会三木会（2024年4月25日）
11. 山口経済同友会（2024年5月13日）
12. 大阪商工会議所（2024年5月14日）
13. 山形県インド人材セミナー（2024年6月24日）
14. 山形経済同友会（2024年6月25日）
15. 世界人材会議（2024年10月12日） ※パネリストとして登壇
16. 日本商工会議所合同委員会（2024年10月16日）
17. 福島県インドセミナー（2024年10月17日）
18. 西大和学園高校インド修学旅行（2024年11月7日）
19. 山形銀行頭取インド視察団（2024年11月18日）
20. 茨城県インド介護人材セミナー（2024年12月26日 ※オンライン）
21. EYセミナー（2025年2月11日） ※パネリストとして登壇
22. 京都商工会議所（2025年2月25日）
23. 富山経済同友会（2025年2月26日）
24. 愛知県インドセミナー（2025年3月18日）
25. 米子商工会議所（2025年5月12日）

Thank you



LETS FIND MORE HUMAN RESOURCES FROM THE INDIA.

Thank you for your attention till end
ご清聴ありがとうございました

By Tsuneya KATAGIRI